



福井ロータリークラブ会報

R.I DISTRICT 2650
2004 ~ 2005

2005.1.27 1895第1738号

会長 / 片岡正明 副会長 / 竹内由男 幹事 / 野尻章博 副幹事 / 清水則明

本日の例会 第2688回

* プログラム *

12:30 開会・点鐘 ソング
会長報告・幹事報告・その他

演題「シングルライフ in 福井」

卓話 園田 耕三 会員

13:30 閉会・点鐘

「100%出席でロータリーを楽しもう！
欠席したらメーキャップを！」

先週の例会報告

1月20日 第2687回例会

現在会員数 123名

出席者69名 届出欠席者25名 無届欠席者29名

前回例会修正出席率87%

ビジター

齊藤多久馬 (鯖江RC)

メーキャップ

園田耕三 (1/12敦賀)、宮崎茂和、増田善宏 (1/19 ~ WCSミッション)、三谷政敏 (1/18福井南)、山内鴻之祐 (1/17福井東)、北島 恬、加藤信一 (1/15地区) 三谷政敏、加藤一二、松原鶴雄、小酒井好信 (1/19福井北) 加藤一二、金杉幹夫、清水則明、石橋正人、吉田清二 (1/21福井あじさい) 吉田清二、上田五兵衛、竹内由男、山内鴻之祐、木瀬英晴、尾野昭夫、中嶋光司、菅原将高、中邑峯章 (1/24福井東) 各君

会長挨拶



片岡会長

皆様こんにちは！先週は新年会の夜間例会に大勢参加し、賑々しく懇親を深めながら新年を祝うことが出来ました。水間委員長始め皆様方に御礼申し上げます。さて、先週ご挨拶申し上げたことが会報に記載されている通り「ロータリーを祝おう100年の歩み」記念事業の一環として4月16日(土)にR&Yフォーラムをフェ

ニックス・プラザに於きましてヒマラヤ初登頂を果たされたダンロップの平林克敏様を講師にお迎えして記念講演をする運びとなりました。これの前段階として先に市内の各中学校に記念図書寄贈を済ませており、今はロータリアンが各中学校の3年生を対象に「21世紀を託す若者へ・夢と希望を実現する生き方を身に付けよう」と題して巡回講話を実施しております。既に成和へ中島さん、光陽へ早川さん、そして一昨日、私が明道で講話をして参りました。明道の会場では200人の生徒が非常に熱心な聴講態度の下、的確な質疑応答が展開されました。最初に私からロータリークラブって知っている？聞いたことある？手を挙げてみると質問しました。どうだったと思います？たった一人だけ手を挙げてくれました。その生徒に有り難うと感謝してから、「今日は知らない人ばかりなのでロータリーのことを説明し、それから本題について話します」と告げてRC誕生や100周年の意義、そして生徒に関連する奉仕活動の一部を説明し、準備の人生・本番の人生、社会や企業が必要とする人材、目標設定と習慣化のための自分造り等々を講話しました。話し終えてから礼儀、習慣、目標などについて幾つもの質問があったのですが最後の結びとしてとっても良かったです。それは「良いお話を有り難うございました。どのようにすればそんなロータリークラブに入れるのですか？」との質問だったんですよ。すかさず、私は「ロータリアンは会社の社長や大学の学長や色々な職業上のトップの地位にある人達なので君も成長して将来、そんな立場の人になり福井ロータリークラブに入会してくれることを待っていますよ」と回答したらその生徒はにっこり笑ってね「はい、分かりました」と言ってくれました。最後に生徒代表謝辞、全員でのお礼の挨拶がありそれはそれは清々しい新鮮な雰囲気でもって好感の持てる講話会でした。是非とも皆さんで講師を務めこの様な喜びを感じていただきたいものだとお勧め致します。ところで某会員から会長のスピーチに税金のことを少し触れたらどうやのと提案がありました。税の話は広く深く難解なものなので実定法は我が事務所へお越し頂くとして、少しだけ歴史的アプローチをしてみたいと思います。触りとして先ず、わが国の税の最古の記録書として魏志倭人伝は3世の女王・卑弥呼が支配する邪馬台国として建物や倉庫があって集めた収穫の一部が税として納められていたとされています。しかし、税が統一の制度として登場するのは701年の大宝律令、班田収受の法と租・

庸・調の制度からなのです。詳しくは次週以降に！それでは2687回の例会をお楽しみ下さい。

幹事報告

- ・1/14青少年育成 早川委員長が光陽中学校にて1/19 片岡会長が明道中学校にて講演をしてくれました。

会計報告

- ・会計 野村会員より半期決算報告があり承認されました。

ビジター受付のお知らせ

1月28日(金) 三国ロータリークラブ

クラブフォーラム

(ロータリー情報委員会)

「ロータリーとJC」 佐々木知也会員

現在、福井RCにはJC出身者が約3割以上いて、そのまた3割は理事長経験者です。



この数は他のクラブと比べ突出した数字だと思います。

RCもJCも、「奉仕の理想を探究」という意味では同じであり大きい違いはない。

私見ですが、イメージ的にRCとJCの違いは次のようなところではないでしょうか。

- ・JCは知恵や汗を出し、RCはお金を出す。
- ・JCは友情を深め、RCは知り合いを広める。
- ・JCは夢を求め、RCは現実を追う。

JCには「奉仕、修練、友情」という三信条が存在します。奉仕や友情はRCとおなじですが、違うのは「修練」が存在することです。いろんな奉仕活動で知恵を出し汗を流しながら自己修練を行い、人格形成を目指していくのがJCであります。当クラブにJC出身者が多いということはメリットもデメリットもあるかもしれませんが、今後の会員増強等を考えると、もっとうまく利用すべきではないでしょうか。RCもJCも同じ理念のもと、同じ地区で活動している団体なのですから、もっとお互いが交流や情報交換を行ってもよいと思います。

クラブ・バナーの交換

多くのロータリークラブの多彩な伝統の一つに、小さなバナー、フラッグあるいはペナントの交換があります。ロータリアンが遠くの地方に旅をし、各地で欠席をメイクアップするとき、友愛の印として交換するためのバナーを持参します。多くのクラブではその貰った装飾用のバナーをクラブ例会や地区の行事で興味を引きつける展示品として使用します。

国際ロータリー理事会は、このバナー交換の人気上昇をすでに1959年には認めておりまして、こういうバナー交換に参加するクラブは、その所属する地域社会や国がはっきり分かるように表現されるよう、そのバナーのデザインに慎重な考慮を払うよう提唱しました。バナーにはそのクラブの領域を表示する絵やスローガンやデザインが含まれることが勧められています。

理事会ではバナー交換が財政上の負担となるクラブもあることに心を配っております。特に人気のある地域だと多数の訪問者がバナーを用意して来て交換を要請します。すべての場合において、クラブはバナーの交換には良識を働かせて、この財政的な負担のためにクラブ本来の奉仕活動に支障を来さないように注意すべきです。

バナーの交換はたいへん楽しい習慣です。独創的で芸術的なバナーがその地域社会の自慢の種についての面白い話を語っているときは特にそうです。バナーの交換はロータリーの一つの重要な伝統であり、私たちの国際的な交友を顕示するシンボルの役も果たしているのです。

(「ロータリーのいろは」より)

ニコニコ箱報告

斉藤多久馬様(武生RC)

宮崎為夫、水谷 巖、石橋正人、加藤初夫、須賀原和広、片岡正明、野尻章博、竹内由男、野村直之、早川公三、宇野良二、加藤一二、井尾聖治郎 各君

計14名 82,000円 今期累計1,649,000円

ロータリー財団増進特別寄付金

松本法龍、木村憲一、片岡正明、石橋正人 各君

次の例会

2005. 2. 3(木)

栄誉行事